

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年1月21日)

- 令和元年中の交通事故発生概況について

..... 1

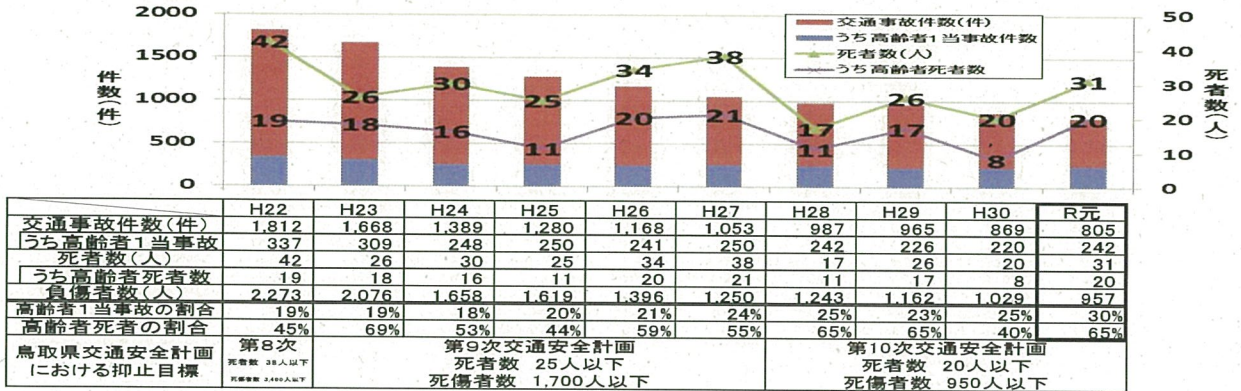
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

令和元年中の交通事故発生概況について

令和2年1月21日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 交通事故発生状況 (過去10年間推移)

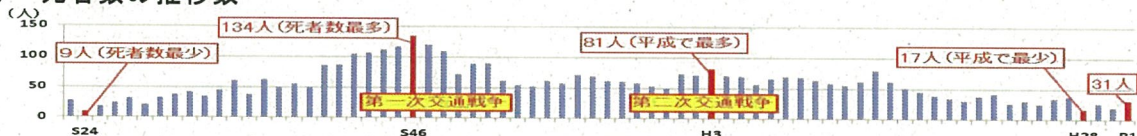


【令和元年の特徴】

- 死者数は前年比11人増加したが、件数及び負傷者数は平成17年から15年連続で減少した。
- 高齢者が第1当事者となる交通事故は、前年から5ポイント増加した。
- 高齢者死者数は20人(65%)と、前年から大幅に増加した。
- 飲酒運転を伴う死亡事故が2件発生した。

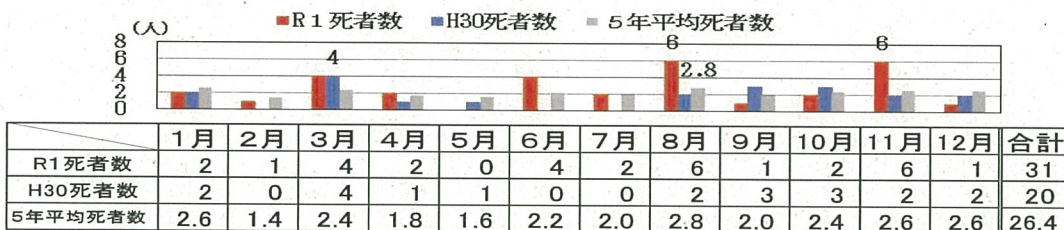
2 交通死亡事故の発生状況

(1) 死者数の推移数



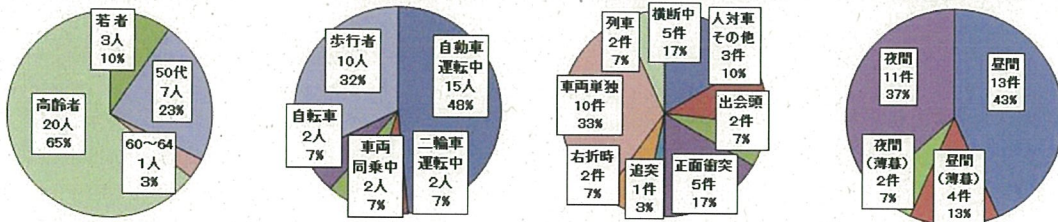
- 令和元年中の死者数31人は、死者が最多の昭和46年(134人)と比較して77%減少した。

(2) 月別死者数

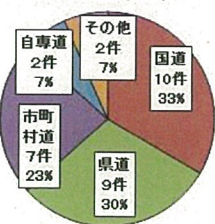


- 令和元年は、統計を取り始めた昭和23年以降初めて、5月中の死亡事故の発生がなかった。
- 3月、6月、8月及び11月に死亡事故が連続発生し、交通死亡事故多発警報が発令された。

(3) 年齢別死者数 (4) 状態別死者数 (5) 事故類型別件数 (6) 昼夜別件数



(7) 路線別件数



- 年齢別：高齢者が20人(65%)等、50代以上が28人(90%)を占める。
- 状態別：自動車・二輪車乗車中が19人(61%)を占める。
- 事故類型別：車両単独が10件(33%)と前年に続いて最も多い。
- 昼夜別：薄暮時間帯に6件(20%)発生した。
※ 薄暮時間帯とは、日没前後1時間(合計2時間)をいう。
- 路線別：国道、県道及び自専道の幹線道路で21件(70%)と多発した。
※ 割合については、単位未滿で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。